

児童虐待防止対策の強化を求める要望書提出

2018.2.14

14日、安藤ともき県議会議員と市議団で提出しました。

市長・教育長と児童虐待防止について意見交換。

2/7日参議院予算委員会で山本かなえ議員が国としての取り組みを質問、翌日関係閣僚会議で安倍首相が「子供の命を守るため、あらゆる手段尽くす」として新たな対策を指示。

千葉県野田市の小学4年生の女児の事件に「悔やんでも悔やみきれない」と。

各自治体では、関係機関が連携して児童虐待防止の取り組みを。

政府が取り組む内容に加えて市として改めて各施策の総点検を要望。

また、通告の義務のPRと189の周知も。

通常国会で児童福祉法の改正案が提出の予定と。

山口代表は「児童相談所の人員の増強など量的な面と、専門知識を持った児童福祉司などの質の面の充実が必要」との見解を。

法改正に期待を。官民挙げて、児童虐待防止対策が強化されることを願います。

オリンピック・パラリンピック推進委員会には、安藤ともき県議会議員が顧問として出席しました。



本日、公明党川口市議団が「児童虐待防止対策の強化を求める要望書」を川口市長に提出。県との連携強化も重要なことから私も同席致しました。

児童虐待が深刻な社会問題になる中、埼玉県では新年度、児童相談所職員の増員や虐待情報をリアルタイムで警察と共有するシステム導入の予算が計上されています。昨日開会した2月議会でもしっかり取り組んでいきます！

